

# 第30回ふる里山田同郷の会

## 都会の一 角山田色

東京近郊に暮らす本町出身者などが集い、交流を深める「ふる里山田同郷の会総会」が6月12日、文京区湯島の東京ガーデンパレスを会場に開かれました。ことで30回目を迎える同会には、190人が出席。総会で本年度の事業計画や収支予算などを審議した後、「懇親交流の集い」が開かれ、飛び交う山田弁と八幡大神樂のおはやしで、会場は山田色に染まりました。

総会に先立ち行われた「ふる里及び会からの報告」では、町水産商工課の佐々木真悟課長が高台造成や防潮堤の建設状況などを写真を使いながら説明。参加者は、変わつていく町の姿を真剣なまなざしで見つめていました。

その後、町内において商業や観光、物産の分野で町の復興を支援している「やまだ復興応援隊」が活動を報告。ふるさと納税や、現在町で行われている体験型観光について説明を行いました。

ふる里会は、町内で寿司の振る舞いを行つた「寿司キヤラバ」を報告。「皆さんには大変喜んでいただいた。伺つていないと仮設住宅にもなんとかお寿司をお届けしたい」と、村上実行委員長が決意を話すと会場からは

激励の拍手が巻き起こりました。続いて行われた総会では、昨年度の事業報告や本年度の事業計画を審議。原案どおり承認されました。

総会終了後の休憩時間には、会場内の物産販売コーナーに多くの人が詰めかけ、懐かしい地元の味を買い求めていました。そして、いよいよ待ちに待つた「懇親交流の集い」。はじめに小川徹弘会長が「多くの人の協力でことしも開催できました。来年もこのように集まれることを祈っています」とあいさつしました。

続いて、佐藤信逸町長が町を代表して登壇。「寿司キヤラバなどふる里会の方々の活動に、感謝しています。災害公営住宅の建設なども着々と進んでいますので、見守ってください」と、





## 参加者からひとこと



竹内 嘉次郎さん（39歳）〔織笠出身〕

今回、幹事を務め、名簿作りなどを担当しました。先輩方に助けていただき無事に開催できました。このような会が30回続いているのはすごいことだと思います。山田出身の方々の結束を感じますね。この貴重な場をこれからも絶やすことなく続けていきたいです。



今井 京子さん(59歳)〔大沢出身・旧姓福士〕

ふる里会には10回以上参加しています。今では私の楽しみの一つになっていますね。30回を迎えたことはうれしいことです、新しい人たちの参加が少ないことはさみしいです。若い世代の人にも会のことを知ってもらって一緒に盛り上げていきたいです。



萩原 伸子さん(59歳)〔船越出身・旧姓松崎〕

私にとってふる里会は、山田の雰囲気を東京で感じることができる重要な機会です。今回は八幡大神楽の方々に来ていただきました。祭りばやしを聞いているとさまざまな思い出がよみがえってきます。これからも、山田の状況などを知るためにも参加したいです。

話しました。その後、長年にわたる同会の活動に感謝の意を表して、佐藤町長から小川会長に感謝状が贈呈されました。懇談の時間は、昆眞雄町議会議長の乾杯の音頭でスタート。久しぶりに再会した同郷の知人や友人と思い出話を花を咲かせ、会場には笑顔があふれました。アトラクションでは八幡大神樂が登場し、祭りばやしを会場にお届け。「御利益」と獅子が頭に囁み付くと、懐かしい光景に歓声が上がりました。



①高らかに乾杯し楽しい懇談がスタート②参加者の頭をガブリ③久しぶりの再開に笑顔があふれます④ふるさとの特産品を多くの人が買い求めました

